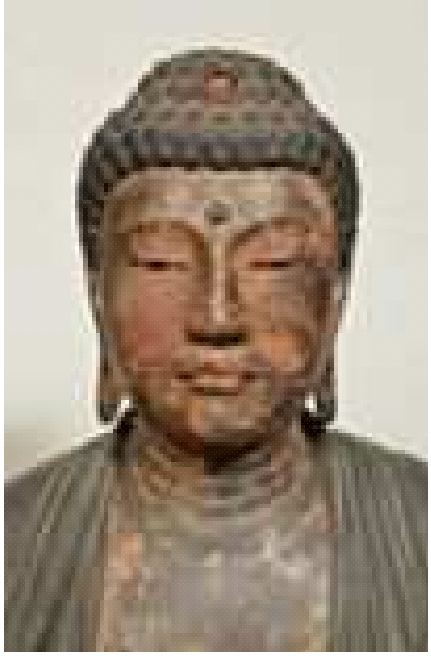
【県指定・有形文化財（彫刻）】

廣泉寺の木造阿弥陀如来立像
附紙本納入品

（令和２年４月 28 日指定）



○　**所在地**　　南さつま市坊津町久志 6552 番地

○　**所有者**　　古宝山　廣泉寺

○　**特　徴**

本像はかつて，枚聞神社の別当寺院，瑞応院に祀られていたと伝えられています。像高は 96.8cm，ヒノキ材を用いた寄木造で，表面は漆箔仕上げとしています。鎌倉時代初期の仏師快慶によって創始された作風である安阿弥様を踏襲した仏像であり，制作時期は鎌倉時代後期（13 世紀～14 世紀）と考えられています。

県内では類例が極めて少ない鎌倉時代の仏像であり，廃仏毀釈や戦災を免れ，歴史的にも信仰的にも貴重な文化財です。